

○地理學評論 第四卷 第十一號 十一月

大阪府下の灌漑農業(上)(山極二郎)

能登半島基部を中心とする古地理及び地形發達史(泉月勝海)

東部筑豊地塊南部の地形發達史(一)(東木龍七)

廣島縣高田郡上根附近の地貌(子村彦一)

○日本鑛業會誌 第四四卷 五二二號 十月

本邦の金銀鑛床(平林武・西尾滋)

臺灣の金銀鑛床に就く(高橋泰吉)

○Ueber Erhaltungszustände von Muscheln und ihre Entstehung. (Werner Quenstedt).

Palaeontographica, Bd. LXXXI, Lief. 1-2, 1928.

○Perrmanns Mitteilungen, 74 Jahrg. Heft 9/10, 1928

Beobachtungen über Strukturböden in den Ostalpen (H. Kinzl)

(H. Kinzl)

Verlauf und Ergebnisse meiner Zentralasien-Expedition 1927/1928. (E. Trinkler)

Die deutsche Umschrift des Chinesischen(L. Kalf)

Die deutsche Regelung der Umschreibung der ostasiatischen geographischen Namen.

(A. Herrmann)

(A. Herrmann)

○科學知識 第八卷 第十一號 十一月

我邦に於ける地球儀の歴史(高木菊三郎)

二百五十年前の三崎の地圖(谷津直秀)

雜報

○民俗藝術 第一卷 第十一號 十一月

上州と甲州の民家(今和次郎)

○文教の朝鮮 十月號

濟州島の地質學的觀察(川崎繁太郎)

○富士の歴史 井野邊茂雄著(富士の研究 I) 十一月 古今書院 定價四圓二十錢

雜報

○圖版解説

濟州島漢擊山 (上圖) 漢擊山は朝鮮絕南の海中に盤踞せる一大孤島即ち濟州島の畧中央に屹立する秀峰にして高距海拔二千米に及ぶ。其の風姿實に儼然とし五六月の頃と雖も尙暄々たる白冠を載き其餘脈は蜿蜒として四圍に垂れ其上に三百有餘の寄生火山を従ふ。挿圖は其絶嶺の一部を東南方より見たるものにして中央は白鹿潭と稱する大口湖にして碧水を湛ふ。往時早魃に際しては、牧使は此處に祭壇を設けて雨乞をなしたりと云ふ。手前の磊々たるは新しき噴出にかゝる黑色玄武岩礫にして左方の峻崖は美しき柱狀節理をなせる灰白色のアルカリ粗面岩塊なり。此の岩質を火口の兩半に於て全く異にせるは特に吾人の興味を惹く所なり。遠くに見ゆる圓錐山は斗星峯及び御乘生岳なる二寄生火山なり。

濟州島住民 (下圖) 本島の住民に就きては人文地理

圖六 七三

學上興味多し。耽羅國建創の歴史の第一葉に於て、三神人ありて地下より産れ給ひ、又三神女海の彼方より五穀、輶胸の類を携えて東海の濱に渡り給ふ。三神人直ちに之を娶り給ひ其子孫は即ち現住民なりと云ふ。元より信賴するに足らざる神話に過すと雖も、此三神女は或は我邦より渡り給ふたと傳へられて居る。之と類似の神話があつて、天照大神の生み給へる御子で、妻鸕鳴尊の御養子になり給ふたと云ふ三女神は葦原中國の宇佐島に降られて海北道中によましますとある即ち海北は古への朝鮮で宇佐島は古の子山國即ち鬱陵島のことで我出雲民族と朝鮮との關係を傳えたもので濟州島にも同様な交渉がありはしなかつたかとの疑問を持つて居る。地理學的にも蒙古、支那、滿州、日本、朝鮮とは密接な關係を有し、此等の民族の渾然融和した複成民族であることは今更贅言を要しないが、其祖先を斷定することは却々の難問題で輕々しく取扱ふ理由にはゆかない。而し其容貌骨格、風俗、言語、信仰遺跡等より見れば朝鮮本土と其趣を異にせる點が尠くない。古より秦人、漢人なる所謂漢族や扶餘族との關係も面白いが之を他の機會に述べ度い。我邦とも齊明天皇の七年津主吉詳唐にishi百濟を経て還る途次、風難に遭過して耽羅に漂着せし其時より我邦へ朝貢格へず天武天皇より持統天皇の御代迄朝貢した。日本書紀に一條天皇の御宇に橋を求めに常夏の國に使者を出し給ひ、使者之を求めて歸朝せしに帝既に崩御し給ひ殉死せりとある。この常夏の國は濟州島のこと

である。又南方主色西歸浦は秦の始皇帝が不老不死の靈藥を求めに使者を出し此浦より支那へ歸還したのに困つて命名したと云ふ。即ち古より直接支那との交通路が開かれて居たものらしい此寫眞は山間部落に住める土人にして多數は獸毛を以つて作れる衣服帽子を着し島居博士によれば蒙古人種に酷似すと、其牧畜の狀況及び而界に石塔を築く等の奇習より想考すれば蒙古人種の影響を受けし所も尠からず。又蒙古襲來の際本島を一根據地となし船舶の修理、兵馬の訓練等をなせし遺風の存するに在らざるかと推考す。住民の風俗を見るに女子は本土に見るが如く頭上に物を戴かず必ず竹籠を脇に抱え又小供の負ひ方も内地と同じである。後頭部は陸地人の如く平坦ならず内地人の如く後方に發達す。

要するに絶海の孤島なるが故種々の人種の漂着混淆せるものにて古より隣接地と交通あり殊に蒙古人種の風習の今尙存するは大いに注目し價す。

○滋賀縣高島郡泰山寺野

泰山寺野は安曇川の南畔にある洪積層の臺地であつて、北半は廣瀬村に、南半は安曇村内地である。北には安曇川の谷を隔て、砲兵の演習場である櫻庭野がある。泰山寺野は櫻庭野よりも少し低くて後者の主要部が海拔二百三十米餘あるのに前者では約二百米である。泰山寺野は略菱形の外廓を有し、東西一里餘、南北も之に適つて居る。西方には硯石虎斑石になる粘板岩及角岩から成つて居る阿彌陀山(四五三米)がある。野の表面は現在では

自然生の小松と笹とで被はれて居るが、地形圖には五萬分一でも二萬五千分一でも共に草原にしてある。地質は壩母に礫を交へたもので殊に地表には壩母が厚く、處によつては甚しく粘土質である。この臺地の北側の觀察に據ると、野の北半は三階又は四階の段丘を成して居る。この内下の一階又は二階は明かに安曇川の河成段丘であつて百二十米及び百三十米附近の高距にある。而して段丘の幅は狭くて三百米内外である。其の上の段は百八十米乃至二百米の高距にあつて全く平ではなく稍北方に傾斜してゐる。この段の南には高さ十五米内外の急斜面が北七十度西から南七十度東の方向に一直線に連つて居る。この斷崖とまでは云ふことは出来ないが一定の方向を有つた急斜面は一つの斷層崖ではなからうかといふ疑がある。而してこの走向はこゝから、北西三里の處まで達して居る熊川斷層の走向と同じである。併し其の連續の方向ではなく、たゞ併走して居るのである。急斜面の上は野の主體で二百十五米内外の高さで中央が盛り上つて西部の山地寄りには却つて僅か低くなつて居る。この主部の南方に、もう一段高く海拔二百五十米に達する狭い部分があつて、こゝは孤立して且つ解折されてゐる。

臺の上には全く人家がない。たゞ西端の阿彌陀山下に廣瀬村大字中野太山寺の小部落がある。もとは十二戸あつたといふことであるが現在では八戸よりしかない。中野に向ふ谷のつまりにあつて水田や畑が廣い。然し中野への谷の中の水田

は耕されず播種されない部分が少くない。耕す人が少ない爲めである。泰山寺野の主要部は粘質壩母が地表を蔽つてゐて充分期にすることも出来るし、溜池による灌漑も出来難いことではない様である。然るに現在の状況では唯一つの太山寺の民居でさへ放棄されるに至るかも知れぬ。さほど山奥でない耕地が荒廢されて行くのは食糧人口問題のやかましく論議される現代では全く顛倒した人文現象である。我邦には耕さるべき野がそこにもこゝにもある。これ等は何れも壩母や礫から成る洪積段丘が臺地であつて幸に大都會に近い處では果樹園となり茶畑となり畑地となるが慰樂の設備から少しでも遠ざかつた處は耕されもせず、時とすると荒廢されて行くのは人口の都會集中の現象としてのみ之を觀て行かれない。

(ナカムラ)

○大阪市の地盤耐力分布

西尾式柱狀地質標本採取

試錐の方法で地盤耐力及地質を調査した結果に據ると、大阪市の地盤は(一)上町式(二)御堂筋式(三)安治川式の三種に大別することが出来る。(但し地表以下百尺を限度とする)。

(一)上町式——上町の一帯は高臺で、北より南に延び地盤は砂礫及粘土の互層で洪積層に屬する。此砂礫層は一平方呎に對し一噸半乃至四噸半の耐壓力(耐壓力は以下單に噸數のみで示す)を有し、粘土も亦半噸乃至二噸の耐壓力を有する故、上町は相當堅固な地盤と謂へる。(二)御堂筋式——此種の地盤は北は天滿から船場及鳥の内を過ぎ難波に達するもので、

新古兩様の沖積層に屬し、砂礫粘土から成る。而して試錐の結果から見ると天満、船場及び難波の三區域で地盤の強弱、地質等に多少の差違がある。即ち(イ)天満附近では地表以下十尺迄は沖積新層の砂礫で、耐壓力は半噸乃至三噸あるも、其以下は堅固な沖積古層の砂礫層で耐壓力は三噸乃至四噸半であるが、深さ八十尺の箇所になると厚さ約十尺の軟弱な耐壓力半噸の粘土層がある。然し天満附近は大阪市内で堅固な地盤と云へる。(ロ)船場附近では地表以下二十五尺迄は砂層で、其下に厚さ三十三尺の粘土層(共に沖積新層)がある。砂層は耐壓力半噸乃至二噸あるが、粘土層の耐壓力は半噸に過ぎずして極めて軟弱である。然し深さ五十八尺以下は強固な沖積古層の砂礫層で耐壓力三噸乃至四噸半ある。又深さ八十尺の所に耐壓力半噸の厚さ十六尺の粘土がある。(ハ)難波附近では地表以下四十七尺迄は砂礫で其内上部三十二尺は耐壓力半噸乃至二噸(沖積新層)、其下部十五尺は耐壓力三噸乃至四噸半(沖積古層)ある。深さ四十七尺以下は洪積層の粘土及砂礫で粘土は厚さ二十四尺、其耐壓力一噸半ある。砂礫層は耐壓力七噸で厚さは二十九尺以上に達する。(三)安治川式——この式の地盤は住吉區の一部、港、此花、東西淀川及東成の諸區を含み面積が廣い。地表以下二十一尺迄は沖積新層の砂層で耐壓力半噸乃至二噸、以下七十八尺迄は沖積新層の粘土で耐壓力半噸を示し軟弱である。此下位には耐壓力三噸半の沖積古層の砂礫がある。上述の様に大阪市の地盤は三種

類に分類され、其内上町式及御堂筋式の兩地盤は耐壓力強く堅固だと云へるが、獨り安治川式地盤に至つては軟弱な感がある。

○伯備線全通

山陽山陰の二大動脈線をつなぐ伯備線は十月廿五日から開通した。岡山から出て、倉敷清音、安栗の各驛をへて、高梁川の溪谷に沿ふて中國臺地を縱斷するのである。沿線には巨岩怪石、飛瀑急湍、碧淵の勝景があるが、備中川面驛までは、既に開けてゐたのである。川面から新線で方谷驛といふのが中井村に出來た。儒者山田方谷の名によつてこの驛名をつけた。井倉、石盤兩驛をへて山間盆地の新見につく、こゝは將來作備線及三新線の完成をまつて、中國臺地横斷線の樞軸となるべき所である。新見のさき足立驛まで出來てゐるが、その方面に新郷村谷田峠の嶮がある。上石見驛(伯耆)までの間に故障が出來たので、目下自動車で連絡してゐるが、十一月廿五日からは全線開通米子岡山間五時間にして達する。播但經由、岡山・米子間に比し百二十哩を短縮して、全線九十哩にすぎない。四國と山陰・山陽との連絡系統に一新紀元を劃するものといつてよい。

○威鏡線全通

威鏡線は今回いよいよ竣工、九月一日から運輸營業を開始する。本線は大正三年十月元山より起工以來滿十四ヶ年の日子を要し、九千八十五萬圓の建設費を投じた難工事であつた。元山・會樂間三百八十三哩八、支線十四哩九、計三百九十八哩七分である、之に京元線を合して龍山か

ら會亭まで五百三十七哩一分で、釜山安東に比して大差のない延長線が出来た。本線は北鮮の大寶庫を開くものである。明年度には北青遮湖支線及東海岸を縦走する東海北部線の元山翁谷間約二十哩の外遠く咸鏡線の終點たる雄基を地點とする雄基・新阿山間約四十哩が竣工する豫定である。圖們線の買収、廣軌改築と相俟ちて、吉會線を結ぶ國境横斷の第一歩を印することになる。本線の海岸線は颯々たる山と長汀曲浦の海岸を走り怒濤岩をかむ雄火と白砂青松の明媚とに富み、蝦蟹等をはじめ、鮭、鱒、明太、なまこ、水産物が多い、松茸も蕨も出る、いづれも旅情を慰むるに十分であらう。

○北滿に於ける新設諸鐵道

近時滿蒙に於ける鐵道建設熱は一の流行病の感がある。其の理由は、滿蒙利益開發に基く當然の趨勢であるが一方各資本國の利權獲得の競争により、いやが上にも其熱を高めた事による。最近北滿に於ける新設鐵道として重要なもの數項に就いて露亞時報の報導した所を要約すれば次の通りである。

一、東支及洮昂鐵道のクロス問題

昂洮鐵道が東支鐵道をクロスして北方に出やうとして茲に支那側と露國側との間に衝突が起り競争を來して居たのであるが支那側の強硬な態度によつて露國側が多少の讓歩をした爲め三年越の懸案も解決し七月其の調印を終つた。是に於て洮昂鐵道が黑龍江省に其驛足を延し爲めに東支鐵道の受ける打撃は蓋し少くはないであらう。従つて兩鐵道間に起る競争も亦益々盛になつて來るであらう。

二、齊克(齊々哈爾—克山)鐵道の敷設

齊々哈爾から克山(小興安嶺の西山麓の都市)に至る齊克鐵道布設の計畫は永年の懸案であつた。黑龍江當局はこの一線によつて齊々哈爾の都市的經濟價值を高めんと努力したが漸く京奉鐵道局が其の布設の衝に當り工事費約六百萬圓で七月二日齊克間百五十哩の敷設工事材料の入札を了し苦力の募集に着手した。故にこの鐵道建設の裏面には英國が絲を引いてゐる事は確である。

三、完成を急ぐ呼海線の二段工事

呼海鐵道の第二段工事即ち綏化、海倫間は工事非常に進捗し目下苦力約一萬名でやつてゐるが尙更に勞働者の大募集をした。然し今年中に開通するや否や疑問である。

四、海東線の敷設計畫

海林と寧古塔間の鐵道敷設開通は既に久しく傳へられ各方面の民間資本家で着手されたが常に立消となつた。然るに最近海林・寧古塔・東京城の官民により、資本金一百五十萬元、海林・寧古塔・東京城間百二十支里の敷設計畫をした。同地間は東部・東支沿線中最も物資の豊かな處で大豆・小麥・高粱・粟等の農産が多いから同線の開通は同地方開發に資する所大であらう。

五、吉林、敦化間開通

吉敦線は去る九月十日から全長百三十哩に涉り開通した。同線の開通は我國に影響する所大である。即ち西は滿鐵の終點長春から吉林に至る吉長線により中央滿洲に連續し東は更に朝鮮東岸雄基に出て羅南・清津・會亭と結ばれ所謂吉會線の

一部をなすもので全線(全會線)開通の曉には滿洲の物資は多くこれに集り日本海方面の活躍が今から想像される。

○最近三年間の世界石油産額表

	一九二四年	一九二五年	二五年(パーセント)
米 國	七三,九四〇,〇〇〇	七三,六三三,〇〇〇	九〇,〇〇〇
メキシコ	一五,九四七,〇〇〇	二五,五五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
ロシア	四三,三三三,〇〇〇	五五,四四八,〇〇〇	一二八,〇〇〇
ウエネズエラ	九,〇〇〇,〇〇〇	一〇,二二二,〇〇〇	一三〇,〇〇〇
波 斯	三三,七三三,〇〇〇	四三,〇六〇,〇〇〇	一二七,〇〇〇
ルーマニア	三三,九〇〇,〇〇〇	三三,四四〇,〇〇〇	九七,〇〇〇
東印度	三〇,四七五,〇〇〇	三三,四四一,〇〇〇	一〇七,〇〇〇
ハル ー	七,七二四,〇〇〇	九,一三六,〇〇〇	一二七,〇〇〇
ビルマ	八,一四〇,〇〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇	九七,〇〇〇
コロンビア	四四,四七四	一〇〇,六七〇	二二七,〇〇〇
アルゼンチン	五,六六九,〇〇〇	五,九四九,〇〇〇	一〇四,〇〇〇
波 蘭	五,六五五,〇〇〇	五,〇三〇,〇〇〇	八七,〇〇〇
トリニダート	四,〇四〇,〇〇〇	四,五六五,〇〇〇	一四二,〇〇〇
サラワク	四,三三三,〇〇〇	四,三三七,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
日 本	一,九五九,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一〇二,〇〇〇
埃 及	一,三三三,〇〇〇	一,三三三,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
エクワドル	三〇,〇〇〇	一四一,〇〇〇	四七〇,〇〇〇
其 他	一,四一一,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
合 計	一,〇〇四,三三三,六一	一,〇六九,九八八,七	一〇七,〇〇〇

○アルバニヤ國體變更 アドリヤ海の入口に位する一小共和國アルバニヤは國際時報の報ずる所によると去る九月一日議會は憲法を改正し舊來の國體なる共和制を改めて王國となし、即日現大統領アメド・ソグ氏はソグ一世陛下として即位宣誓式を擧げられた。

同國は人の知る通りアドリヤ海の入口に位しバルカン山脈を背後に負ひ山岳多い人文未開の國である。面積僅かに十七萬平方哩で我九州の面積に略々等しく人口約八十三萬で住民の三分の二は回教徒、他はカトリック教徒で民度一般に低く性別悍で殆ど一般に認められない、元土耳古領で一九一二年獨立し歐洲の王族を國王に迎へ、國王は列國の任命する國際管理員に聽いて之が統治に當つてゐたが大戦と共に退位し右制度は自然消滅し一時無政府状態に置かれてあつたが一九一七年六月新政府が樹立せられ憲法を制定し共和國となつて今日に至つたが、今回右の通り王國制となつた、因に一九二九年十一月伊太利と友好仲裁條約(チラナ條約)を締結し伊太利の勢力が大分加へられてゐる。

○大西洋横斷電話の發展

紐育ウォール・ストリート・ジャーナルの報道する所によると「米國電話電符會社」は大西洋横斷電話開通により急速に世界との聯絡を密にし會社の作業も益々發展するし亦低料金になるであらう。

大西洋横斷電話は一九二七年一月七日 倫敦、紐育間の通話を開始したが左表は其後如何に發展せしか其狀況を示す。

(歐洲にて直通するに至れるもの九ヶ國)

開通當初年

七・一通话(日平均)

一九二八年一月

七・七通话(同)

一九二八年二月

一三・六通话(同)

一九二八年三月

二六・〇通话(同)

一九二八年四月六月

三六・五通话(同)

尙西半球に於ける人口並に無線電話による東半球との連絡
電話数を示せば(單位一、〇〇〇)

國名

人口

電話數

合衆國

二二〇、〇〇〇

一八、五〇〇

加奈陀(各地)

九、七〇〇

一、二八〇

政 瑪(同)

三、五〇〇

九五

墨 國

一、三五〇

三〇

尙通話料は最高料金は墨國及諾威オスロ間で距離八千哩に
達し三分間六七弗五〇仙、加州英國間は五七弗、以上一分
間を増す毎に一七弗を徴し、加州瑞典間は最初の三分間は六
三弗五七仙とし以上一分間を増す毎に二一弗五仙を増徴し、
コンネチカッツ州、テラウエヤ州、テイストリクト、オア、コ
ルンビヤ、メーン州、メアリーランド州、マサチエーセツツ
州、ペンシルバニヤ州、ロードアイランド州、紐育、パーモン
ト各地と英國間は最初の三分間四五弗以上、一分間を増す毎
に一五弗を受ける。天候其他により明瞭に聴取不能の場合に
は相當通話時間に對する料金を引去るのである。(國際時報)

質 疑 應 答

○奈良地理學會講演會

奈良地理學會では十一月十

八日奈良女子高等師範學校に東京帝國大學地理學教員出身者
及在學者の盛大な講演會を開催した。講演の題目と講演者は
次の如くであつた。猶ほ山崎博士の内陸流域に關する講話等
があつた。

國際關係の經濟地理的瞥見

佐々木彦一郎

大井川隆起三角洲

波 邊 光

奈良丘陵附近の地形

帷子二郎

氣候と土地利用

福井英一郎

本邦國內移住について

武見芳二

人口増加と人口過剩

石田龍次郎

湖沼學の歴史及現狀

吉村信吉

市場と都市經濟地理

西水孜郎

鐵道と文化

細井一六

本邦の沈降海岸について

村田貞藏

九州南部に發達する山麓階について

宮崎健三

フィンランドの地形

小川朝吉

白人種の氣候適應

松井勇

人文現象に於ける氣候的因子

河田四郎

質 疑 應 答

問 呼倫貝爾の獨立運動について

大阪T生

答 呼倫貝爾といふと、黑龍江省呼倫縣の首府の名である。
英國製の地圖に Khailar 海拉爾と書いてある。黑龍江省が